JP 02-147026 U

Publication Date 12/13/1990

[Claim 1]

A combination chair and umbrella, comprising:

a seating plate provided on a handle of an umbrella part.

[Claim 2]

The combination chair and umbrella according to claim 1, wherein the seating plate is formed by opening two parts of the handle in opposite directions.

[Claim 3]

The combination chair and umbrella according to claim 1, wherein the seating plate is integrally provided at a predetermined position on the handle.

[Claim 4]

The combination chair and umbrella according to claim 1, wherein the seating plate comprises a plate-shaped handle, the handle mounted on a folding cross-leg to pivot about the leg.

⑩日本国特許庁(JP)

①実用新案出題公開

◎ 公開実用新案公報(U)

平2-147026

@Int. Cl. ⁶

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成2年(1990)12月13日

A 45 B 5/00

8812-3B

審査請求 未請求 請求項の数 4 (全3頁)

❷考案の名称 腰かけ兼用傘

②実 脱 平1-56658

20出 願 平1(1989)5月16日

⑰考案者 大 倉

禎

岡山県閩山市廢屋町 5-15

の出 野 人 大 倉

被

岡山県岡山市暦屋町5-15

四代 理 人 弁理士 森 廣三郎

砂実用新處登録請求の範囲

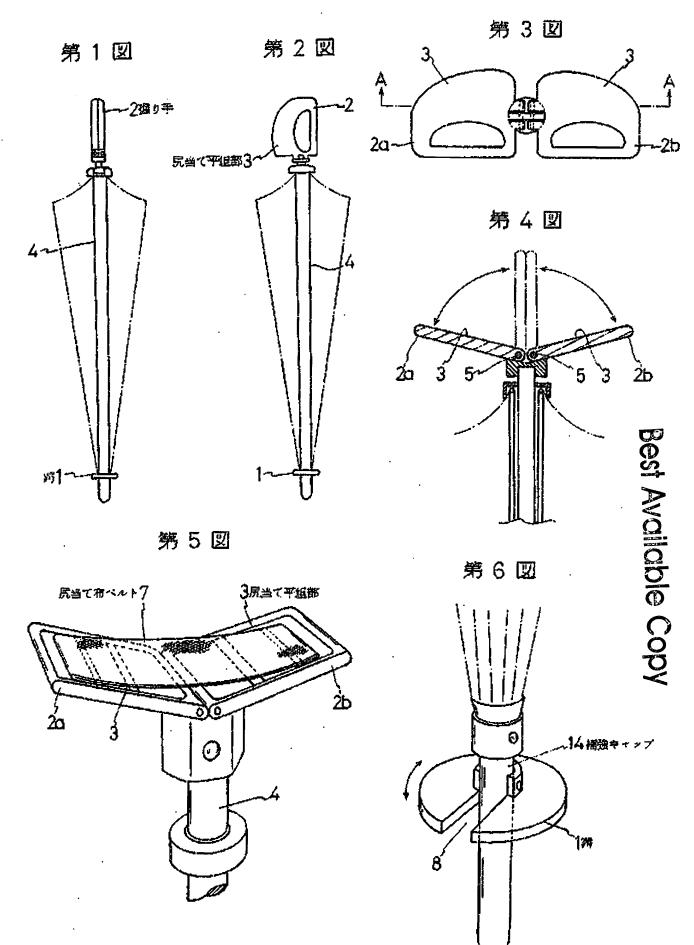
- 1 傘の掘り手2に尻当て平坦部3を形成したことを特徴とする腰かけ兼用傘。
- 2 請求項1配載の尻当て平坦部3は 2つ割り の握り手を左右に開いて形成する腰かけ兼用 傘。
- 3 請求項1記載の尻当て平坦部3は 揺り手の 先端に一体形成する腰かけ兼用傘。
- 4 請求項1記載の民当て平坦部3は 交差折り 畳み脚6上に軸着したプレート状握り手2に形成されてなる腰かけ兼用傘。

図面の簡単な説明

第1図は本考案の腰かけ兼用傘の正面図、第2

図は同側面図である。第3図及び第4図は尻当て 平坦部の構造例を示すもので、第3図は平面図、 第4図は第3図中A-A断面図である。第5図は 第2実施例における握り手部分の斜視図である。 第6図は鍔部分の斜視図である。第7図は第3実 施例における握り手部分の側面図であり、第8図 は同正面図である。第9図は第4実施例の握り手 部分の斜視図である。

1……鍔、2……握り手、3……尻当て平坦部、4……傘の軸、6……交差折り畳み脚、7……尻当て布ベルト。



Best Available Copy

